



株式会社Fine-1  
所在地 岐阜市西部菱野4-38-1  
TEL 058-275-3055  
FAX 058-275-3632

株式会社Fine-1では、購入後のアフター フォローにも力を入れています。「後日、使用感の確認のお電話を必ず入れています。その際に『以前はなかなか寝付けなかつたのにそれを忘れるぐらい眠れるようになった』や『腰痛がすごく楽になった』といった言葉をいただいたときは本当に励みになります。また、内容によっては、その声をもとに再度調整しながら、お客様の理想の眠りと一緒に追求していくこともあります。さらに、買い替えの際に不要になつた古い布団の回収訪問や、羽毛の補充・洗浄など、寝具

します。また、睡眠中の寝返りをどれだけスムーズにできるかが朝の目覚めの良さに関わってきます。カウンセリングを通じてお客様に最適な商品は何かということを常に考えています」また、現在の睡眠環境に合わせて「布団の微調整」ができることも強みのひとつです。

「例えば、買い替えを検討しているものの、重みのある掛け布団に慣れてしまい、羽毛布団の軽さがしつくりこないという方には、綿をブレンドすることであえて重さを出したこともあります」専門家がいるショールーム、睡眠健康指導士だからこそカウンセリングです。

### 「お加減、聞かせてください」

株式会社Fine-1では、購入後のアフター フォローにも力を入れています。

「後日、使用感の確認のお電話を必ず入れています。その際に『以前はなかなか寝付けなかつたのにそれを忘れるぐらい眠れるようになった』や『腰痛がすごく楽になった』といった言葉をいたしました。

また、内容によっては、その声をもとに再度調整しながら、お客様の理想の眠りと一緒に追求していくこともあります。

さらに、買い替えの際に不要になつた古い布団の回収訪問や、羽毛の補充・洗浄など、寝具

# ~眠ることが楽しみに・わくわくできる睡眠を~ 魔法の布団を創りたい

「7時間22分」

これは、2021年における日本人の平均睡眠時間です。OECD（経済協力開発機構）加盟国の平均は8時間25分であり、日本はその中で最下位に位置していることから「世界で一番寝ていない国」と評されることもあります。

その背景として、仕事や趣味のために早寝早起きが習慣となっている人もいますが、「よく眠りたいのに寝つきが悪い」あるいは「朝早く目が覚めてしまう」といったように、睡眠そのものに悩みを抱えている人がいるのも少なくありません。

岐阜市西部にある株式会社Fine-1では、寝具の販売を通じて睡眠改善を提案しています。今月号では、専務取締役の山下結子さんに、その取り組み内容や今後の展望についてお話を伺いました。

株式会社Fine-1 専務取締役 山下 結子 さん



**「布団屋としてできることをしたい」**

**「寝てみてください」**

株式会社Fine-1は、夫の義喜さんがそれまで勤めていた寝具専門店での経験を活かし、2005年に立ち上げた会社です。創業当初は外商がほとんどで、山下さんは育児をしながら営業担当者のサポートに専念していました。事務所にショールームを設けたのは4年前のこと。きっかけになったのは、ある交通事故のニュースでした。

「睡眠時無呼吸症候群が原因で意識を失つてしまい、トラックの運転手が乗用車にぶつかってしまったという報道でした。睡眠に問題を抱えている状態で起きた事故であり、一瞬の出来事で双方の家族にも悲劇が及んだことに非常にショックを受けました」

睡眠時無呼吸症候群は、呼吸が止まつたり浅くなつたりする状態が睡眠中に頻繁に繰り返される病気です。体内の酸素量が不足することで脳卒中や心筋梗塞などを引き起こしやすくなるほか、深く睡眠できないことから日中に強い眠気に襲われ突然意識を失つてしまふ危険性もあります。

「私は医師ではないから治療はできないけれど、布団屋としてできることをしたい」その想いを実現するため、まずは睡眠健康指導士の資格を取得して睡眠に関する正しい知識を得て。さらに、顧客が本格的に相談できる場が必要と考え、事務所を改装してショールームを設けました。

**「布団で眠つたら解決できる」ように**  
山下さんはお客様とのカウンセリングを進めながら、いつしか「魔法の布団を創りたい」という目標が生まれました。

「私が想う『魔法の布団』とは、疲れや悩みが解消され、良い睡眠をとることで翌日元気に活動できるような布団のことです。それを実現するために、お客様のさまざまな悩みを解決できる『あつたらしいな』と思える寝具を、オリジナル商品として試行錯誤しながら作ってきました。オーダー枕もその一つです。また、お客様によつて体格や体质、日常の運動量、生活スタイルはさまざまですから、同じ商品であつてもお一人お一人に適した調整が必要です。お悩みや希望に寄り添い、提供できる一番の寝具を使つていくことで、それがお客様にとっての『魔法の布団』になつたらしいな、というのが私たちの願いです」

そんな想いからできたFine-1の「オリジナル寝具」を実際に使用した方々からは「自分に合つた寝具の大切さを実感できた」「寝相がよくなりぐつすり眠れるようになった」などの多くの言葉と笑顔が届いています。

そして今後もお客様の期待に応えていくために、たくさん企画を考えています。

「例えば、授乳期の睡眠の質が少しでも良くなるようなアイテムや、子育て中の家の負担が



ブライダル専用にラッピングした商品

山下さんは、これからも多くの方々に「安眠」、そして心地よい「夢」を届けていきます。今後の展開に、期待が膨らみます。

ショールームのコンセプトは、とにかくくつろげること。寝室は自宅の中で一番リラックスできる場所だからこそ、寝具選びの際も同じ雰囲を感じてもいいといふ山下さんは話します。



ショールームでの相談の様子